

# ぞう組(年長児)

令和4年6月①  
子生和保育園

## ～ドロケイのルール教えてあげるね～

「ドロケイしよう！」と声を掛け合って遊び始めました。そこに「いれて」と初めてドロケイに参加する友達が集まってきた場面です。

泥棒の仲間が  
タッチしてくれたら  
また逃げれるよ

泥棒は水色帽子なんだ



捕まってもまた逃げれるんだ

保育士が「ドロケイって知ってる？」と集団遊びを提案し、集まった子にルールを知らせながら遊びを始めました。その後、新たに興味を持って「いれて」と遊びに入ってきた子には、遊びのルールを理解した子が「タッチされたらね…」「帽子の色はね…」と友達に伝え、一緒に遊ぶ姿があります。

友達が楽しそうに遊んでいる姿を見ると、自分もやってみたいという気持ちが芽生えることがあります。ルールを伝え合ったり作ったりしながら、ルールを守って遊ぶことで、友達との遊びが楽しくなることを実感します。